

3 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL: 中研中山氏 参加: トヨタ谷澤氏、神戸
山 域	鈴鹿	報告日	4/14		
山 名	藤原岳	山行日	15年 3月 13日 (金) -14日 (土)		

山行目的	全豊田山岳連盟 ミニ雪山訓練	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙: 集会担当者	





2.5 万分の 1 地図: 篠立、竜ヶ岳

3/13 雨→雪  
 19:15 刈谷発 21:00 着  
 21:20 登山口スタート (大貝戸道)  
 22:50 八合目  
 23:35 藤原山荘着  
 小屋泊  
 3/14 曇り  
 6:30-8:00 雪上歩行訓練  
 9:00-9:20 藤原岳頂上  
 10:00-11:00 下山  
 11:30 阿下喜温泉-解散



〈山行報告〉いつものデンソーN1 駐車場でトヨタの谷澤さんと落ち合う。いつもはデンソー山岳部の集合場所なのでちょっと変な感じだ。2 時間弱で大貝戸口の休憩所に着く。準備を始めると中研の中山さんが到着し早々に出発。低山なので途端に汗をかいてしまう。雨も降り出していたが一旦レインウェアを調節。登山道の雪は7 合目位からで雨はいつのまにか雪になっていた。8 合目からは踏み跡が交錯する。9 合目の先の急登後のトラバース道は分らず、トップの谷澤さんは尾根筋に行くが中山さんに呼び戻されて戻っていく。私は山荘に近いに違いないと小ピークに着き、ヘッドライトあたりを見渡すが、雪のため視界が 20m ほどで山荘はわからなかった。仕方なく合流すると山荘はすぐそこだった。雪の夜は視界が非常に限られると分った。(小ピークは小屋から東 40m 位の測量棒の立っている所だった) 小宴会の後、就寝して 5 時の目覚ましを鳴らしたが、まだ真っ暗でちょっと早かった。明るくなった頃 3 人で小屋の北に向かう。普段来ないが小屋北に広がる平原と 8 合目に落ち込む斜面の境界に着く。

昨日降った新雪もあり、ハンドでの弱層テストで弱い面の確認。急斜面で歩行訓練と、スタンディングアックスピレイを教わる。ピレイする側と滑落 (というかジャンプ) する側を谷澤さんと交互に試した。新雪だったので急とはいえ硬い斜面での滑落停止はできなかったが、雪遊び感覚が楽しかった。

そのうちに山スキーの方が単独で現れ、上手にテレマークを滑っていた。朝ごはんを小屋で採って頂上に向かう。山スキーの方はこちら側も滑っていて楽しそうだった。予定のビーコン捜索訓練は省略して、10 時には下山開始。花の名山の為、福寿草を目当てにおばちゃん連中がどんどん上がってきた。阿下喜温泉で汗を流してそのまま解散となった。

フリースペース  
 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

〈リーダー所見〉藤原岳は私が登山 (ハイキング) を始めて最初の雪山で、今の山岳部がやっているアルパインとは違い平頂丘が印象的で、たぶん今までで一番回数登っていますが、訓練場所は初めて踏み入れたところでした。雪山訓練は低山でもできると知り、御在所以外もいいなと思えました。

確認 (リーダー)	神戸
作成 (報告者)	神戸
	15/3/28
	戸